

令和5年9月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

令和5年9月21日（木） 午前9時30分

2 出席委員

新 倉 聡 教育長  
荒 川 由美子 委員（教育長職務代理者）  
澤 田 真 弓 委員  
川 邊 幹 男 委員

3 出席説明員

教育総務部長	古 谷 久 乃
教育総務部総務課長	加 藤 博 昭
教育総務部教育政策課長	飯 田 達 也
教育総務部生涯学習課長	柿 原 美 奈
教育総務部教職員課長	筒 井 宣 行
教育総務部学校管理課長	二 見 裕
学校教育部長	川 上 誠
学校教育部教育指導課長	鈴 木 史 洋
学校教育部支援教育課長	小 谷 亜 弓
学校教育部保健体育課長	小 田 耕 生
学校教育部学校食育課長	高 橋 大 歩
学校教育部教育情報担当課長	矢 本 步
中央図書館長	山 田 智 子
博物館運営課長	北 山 剛 子
教育研究所長	梅 谷 尚 子

4 傍聴人 0名

5 議題及び議事の概要

○ 教育長 開会を宣言

(新倉教育長)

本日は元木委員から欠席する旨のご連絡をいただいております。なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、本日の会議は成立するものいたします。

○ 教育長 本日の会議録署名人に川邊委員を指名した。

○ 日程第2 議案第28号及び日程第3 議案第29号については、人事案件であるため、秘密会とすることを提案、「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。

○ 教育長報告

(新倉教育長)

それでは、8月定例会から本日までの間の所管事項について報告をさせていただきます。

お手元の教育長報告資料をご覧くださいと思います。

8月30日から9月定例議会の本会議が開催されております。去る9月19日の定例議会本会議におきまして、元木議員の再任議案がご同意いただいたところであり、なお、これから決算の分科会等が開かれておりまして、10月4日まで開催される予定となっております。

学校関係の行事としましては、8月19日に「子どものための音楽会」がよこすか芸術劇場で開催されました。大変久しぶりと言ったらおかしいのですが、ただやはりコロナの影響で、全体が練習する日程がなかなか組めなかったということがございました。大変意義深い会だと思っておりますので、今後もぜひ続けていけたらと思っております。

他は記載事項のとおりですので、ご支援いただければと思います。

(質問なし)

日程第1 議案第27号『令和6年度横須賀市立ろう学校幼稚部及び高等部普通科の幼児及び生徒募集要項制定について』

教育長 議題とすることを宣言

(支援教育課長)

教育委員会、議案第27号『令和6年度横須賀市立ろう学校幼稚部及び高等部普通科の幼児及び生徒募集要項制定について』ご説明いたします。

本議案は、ろう学校幼稚部及び高等部普通科の令和6年度幼児及び生徒の募集について定めるものであります。

2ページをご覧ください。

最初に、幼稚部の志願の資格ですが、記載の(1)から(3)の全てに該当する方が対象になります。

募集人数は、令和5年度入学者までは8名としていたところを、今回から幼稚部は1学年を5名と変更いたしました。これについては、文部科学省が定めた特別支援学校の設置基準が令和5年4月より施行されていることに合わせ、ろう学校全体の定員の変更の процедуру令和6年4月に向けて進めていることが変更の理由であります。ろう学校の幼稚部の教室などの面積から人数を想定しているものです。

募集期間は、令和6年1月9日火曜日から同月12日金曜日までの、午前9時から午後4時までとなっております。

志願者は、必ず事前に学校見学及び教育相談を受けていただきます。

提出書類は、入学志願票です。

面接などについては、日時は令和6年2月6日火曜日です。

選抜内容については、本人の行動観察と保護者面接であり、入学決定者の発表は、その場で保護者に直接お伝えします。

新入学保護者説明会を令和6年2月4日木曜日の午前10時から行います。

次に、高等部普通科は、志願の資格は、記載の(1)から(3)の全てに該当する方が対象になります。

募集人員は、高等部1年8名で、昨年までと人数の変更はありません。

次に、3ページをご覧ください。

募集期間は、幼稚部と同様、令和6年1月9日火曜日から同月12日金曜日までの午前9時から午後4時までとなっております。志願者は必ず事前に学校見学及び教育相談を受けていただきます。

提出書類は、神奈川県公立高等学校入学願書(全日制の課程)及び調査書、面接シートです。

学力検査及び面接については、日時は令和6年1月19日金曜日の午前8時30分からになります。

選抜の方法は、学力検査と本人及び保護者との面接で、6の学力検査教科及び

時間割の記載のとおりに行います。

また、受検Ⅰの国語、数学については、個に応じた内容となっていますので、受検Ⅱの国語、数学と内容は異なるものとなっています。

続きまして、合格者の発表と入学手続ですが、令和6年1月26日金曜日の午後1時に、ろう学校の事務室にて通知を手渡しいたします。その後、令和6年2月2日金曜日の午後4時までには所定の手続をしていただきます。

新入学保護者説明会は、令和6年2月8日木曜日、午前10時からです。

問い合わせ先は、記載のとおり、ろう学校となっています。

以上で議案第27号の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(新倉教育長)

本当につまらない質問で申し訳ないですが、高等部の試験のときに、教科が受験Ⅰと受験Ⅱと分かれて、それぞれ受験しますよね。仮にこのとき、8名の定員を超えたときは、どちらが優先されるとかはあるのですか。

つまり、この8名だと、受験Ⅰが4名なら受験Ⅱが4名なのか、受験Ⅰ、Ⅱを合わせて、多分8名だとすると、それぞれⅠとⅡでは、比較すると点数が違うことになりますよね。そうすると、それをどういうふうを選択するのかなということです。

(支援教育課長)

基本的には特別支援学校については、県立も同じなのですけれども、障害の状況に応じて必要な方を全員受け入れていきたいという目標があります。必要のある方については全員受け入れていくということで、高等部について選抜のような形になっていますけれども、事前に様々、市内の状況等、教育相談等を通じながら、人数の把握をさせていただいているところです。

そういったところでは、基本的にはこの8名を超える想定は、現在のところ、夏の段階ではないということで学校からも報告を受けていて、希望された方全員が入れるような形で、現在8人を想定しているところです。

ただ、事前の相談の中で人数を超える場合には、近隣の学校、聴覚障害の方を受け入れている学校との調整をしながら、どこに受け入れていくべきかということで、聴覚障害のある方でご希望のある方が、支援を受けられないような状況がないような形で、事前に相談をさせていただいているところです。

あわせて、受験Ⅰと受験Ⅱは合わせて8名というような想定で行っていますので、受験Ⅰで8名、受験Ⅱで8名ということではないです。なので、選抜ではありますけれども、ここで差をつけて選抜から外すというような想定が、特別支

援学校の考え方には、今の中ではないというところでは、

(澤田委員)

高等部の試験のことですけれども、中学校等から受験に際して合理的配慮が求められた場合は、別途時間割等を作成するというのが一文書かれています。これまでどのような合理的配慮が求められましたでしょうか。例がありましたら教えていただければと思います。

(支援教育課長)

直接は確認していませんけれども、ろう学校に通う方については、ロジャーという無線の補聴器で音を拾うような工夫をしていたり、それから手話通訳をつけての様々な情報提供をする等のこと、それから受験Ⅰと受験Ⅱの場合、お部屋が個室のほうがいい方については、お部屋を分けるなどの配慮をしてくれているところですので、そこは選抜前の入学相談の中と、中学校との情報交換の中で、合理的配慮を必ずしていきたいというところで書かせていただいています。

(澤田委員)

ありがとうございました。

では、時間割については、この2パターンで実施できそうなのでしょうか。

(支援教育課長)

もちろん、文字等のいろいろな理解に時間がかかるという方については、時間の配慮も個別配慮というところでしていきたいと考えております。

ほかに質問・討論なく、採決の結果、議案第27号は、「総員挙手」をもって、原案どおり可決・確定する。

教育長 報告事項を聴取することを宣言

報告事項(1) 『令和5年度(2023年度)学力等調査の結果について』

(教育指導課長)

令和5年度学力等調査の結果について報告いたします。

お配りしました資料は、本年度実施いたしました横須賀市立小・中学校学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果について、その概要をまとめたもので

す。

初めに、横須賀市立小・中学校学習状況調査の結果について説明をいたします。

資料の2ページから7ページに、教科調査における本市全体の結果をまとめています。

各学年、教科ごとに示した数値は、上から全国平均正答率、本市平均正答率、そして全国平均正答率を100としたときの横須賀市の正答率です。

同じ問題を実施した全国の児童・生徒数は、学年や教科によって異なりますが、おおむね13万人から20万人となっています。

学年、教科によって傾向は異なりますが、多くの学年、教科において、本市の児童・生徒の平均正答率は、全国の児童・生徒全体の平均正答率を下回っています。

それぞれの課題については、結果とともにお示ししていますが、全体的な傾向として、理由を説明したり条件に沿って作文することなど、自分の考えを表現したり記述したりすることに課題が見られます。教科を問わず、日々の授業において表現する力、記述する力とともに、粘り強く課題に取り組む力を伸ばすことができるよう、引き続き授業改善を図ります。

また、各学年、教科の指導の改善のポイントについては、今後、具体的に各学校に示す予定です。

次に、質問紙調査の結果についてです。

資料の8ページ、9ページに市全体の結果をまとめています。

8ページの表については、質問紙調査における設問を表に示すカテゴリーに分類し、各設問において肯定的な回答をした児童・生徒の割合を数値化し、さらに全国平均を50とする偏差値として算出した値を示しています。よって、値が大きいほど肯定的な回答をした児童・生徒の割合が高く、また値が50に近いほど、全国平均値に近いということになります。

なお、発達段階に応じて設問が用意されているため、他者からの評価や社会参画に係る設問は調査していない学年があります。

自己認識に関わる項目については、いずれの学年においても全国とほぼ同程度でした。

次に、社会性に関わる項目のうち、対話・話し合いについてですが、特に中学校1年生、2年生でその値が高くなっており、学習活動において行われている対話や話し合いについて、学年が上がるにつれてその意義を実感しているのではないかと考えられます。

次に、学習環境に係る項目のうち、いじめのサイン、対人ストレスについては、全ての学年において肯定的な回答の割合が低く、いじめやその兆候、人間関係の不安を感じている児童・生徒の割合が、全国と比較して高い可能性があります。

引き続き、一人一人の状況を積極的に把握し、適切な指導及び支援を行うことが求められています。

生活・学習習慣に関わる項目のうち学習習慣については、全ての学年において全国平均値を下回っています。その下の学習意欲は全国とほぼ同程度であることから、この学習意欲を家庭学習の習慣にいかにつなげ確立することができるか、家庭と連携を取りながら指導改善を図る必要があります。

続いて、全国学力・学習状況調査の結果について説明いたします。

教科に関する調査については、11ページ、12ページに結果をまとめています。

今年度は、小学校6年生で国語と算数、中学校3年生では国語と数学に加えて英語の調査が実施されました。英語の調査はおおむね3年置きに実施されています。中学校3年生の英語を除いて、各学年、教科において全国の公立学校の児童・生徒全体の平均正答率を下回っていました。

一方、中学校3年生の国語及び英語においては、記述によって解答する問題の無解答率が全国を下回っており、これまでの指導の成果がうかがえます。

次に、質問紙調査の結果についてです。

本市全体の結果と全国の結果との差が5ポイント以上である質問事項について、13ページから16ページまでにまとめています。

学習習慣や読書習慣、新聞を読む習慣についての質問からは、計画を立てて勉強している児童・生徒の割合や、読書をする児童・生徒の割合が低いことが分かります。

また、困り事や不安のあるときに、先生や学校にいる大人に相談できると回答している児童・生徒の割合が低い傾向があります。

先ほどお示した市の調査の結果においても、いじめのサイン、対人ストレスについて課題が見られているため、一人一人の状況を積極的に把握し、適切な指導及び支援を行うことが求められます。

学校でパソコンやタブレットなどのICT機器を使用する頻度については、中学校3年生において、機器を使用する頻度が全国と比較して高いことが分かります。1人1台端末の配備から3年が経過した中学校においては、ICT機器が学習活動のツールとして定着していることがうかがえます。

最後に、ただいま説明いたしましたこれらの調査結果から見取ることができる課題と今後必要な取り組みについて、17ページにまとめました。

本日まで説明した、令和5年度の横須賀市立小・中学校学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果については、お手元の資料と同様のものを市教育委員会ホームページに掲載し、市民へも広く周知するとともに、今後、各学校の実態に応じて具体的な指導、助言につなげていきたいと考えています。

なお、昨年度ご指摘いただいた、評価に関する調査結果と質問紙調査結果のク

ロス集計については、現在その作業を進めているところです。

(荒川委員)

今年度も多くの学年で無解答率が高く、記述式解答の書く力が残念だったのですが、これは市の全体ということで、各学校ではそれぞれ工夫をされて、対策を練るなどの努力をされていると思いますが、教育委員会のほうに、各学校のそういう努力してきたもので成果があるような報告というのがありましたら、教えていただければと思います。よろしくお願いします。

(教育指導課長)

まず、無解答という部分については、難易度が高くて考えても書けないというふうなことでの無解答なのか、それとも時間的なこと、設問を順番に解いていつて、どうしても時間が足りなくて、そこまでたどり着けなかったとしての結果という無解答と、それらがどういう傾向なのかということ进行分析して、把握しようとしている学校があるというふうなことは、こちらではつかんでいます。

ただ、荒川委員ご指摘のとおり、市全体の傾向としては、読み取る力とか記述する力には、課題があるだろうというふうなことを捉えておりますので、市全体の傾向と、それから学校ごと、学校でどれだけ分析をしているかというふうなところを、併せてこれから取り組んでいく必要があると考えています。

(澤田委員)

横須賀市の学習状況調査、それから全国学力・学習状況調査の結果から、本市の児童・生徒の課題として上がってきた事項というのは、学習指導要領で特に各教科共通に強調されている資質・能力です。

各学校で今回の問題の振り返り、解答とその説明はなされているのでしょうか。やりっ放しになっていないでしょうかという質問です。

(教育指導課長)

各学校には、それぞれの学校の集計の結果と、そこから簡単に読み取れる傾向については、まとめてお渡しをしています。

現在、それを受けてどのような分析を行っているかというふうなところを、教育指導課の指導主事が各学校を回って、把握しようとしているところです。

(澤田委員)

全国学力・学習状況調査であれば、各設問が子供たちにどのような力を狙っているのか、解答を含めた報告書が出されています。この報告書を指導する先生方



には見ていただき、指導に役立てていただきたいと思います。そして子どもたちにもう一度考えさせ、理解を促す過程が必要なのではないかと思います。また、これらの設問は学習指導要領の考えに立っている内容ですので、先生方にも授業研究や研修において指導のポイントを押さえていただきたいと思います。

(新倉教育長)

8 ページで教えていただきたいと思いますのですけれども、質問紙調査が出てきています。全国平均を50としていますよといったときに50を下回っているというのは、9 ページのほうで横については確認しているのですけれども、縦で見ると、小学校5年生が50を割る領域があまりに多いのですよ。

この学年というのは、本当にコロナの間をずっと来ているので、全国的な影響があるのは確かなのだらうと思うのだけれども、その影響を受けた中で、横須賀の子どもたちだけ、どうしてこの5年生のところに、こんなに数値が悪くなるというか、全国平均を下回るような状況になるのかというのは、今の時点ではまだ何も分からないのでしょうか。それとも、例えば去年の段階で、やはり4年生で悪かったと見ているのか。その辺をきちんと比較をしないといけないのかなと思うのですけれども、この辺は何か、特に5年生で何か事態があったとは聞いているのでしょうか。

(教育指導課長)

特にこの学年で特徴的な何かがあったということはつかんでおりませんが、今ご指摘いただいた視点で、少し前年度の結果を確認する中で、分析を進めていきたいと考えます。

(新倉教育長)

というのは、やはり同様に中学2年生も、かなり小学校5年生に準じているような状況がある。これは単年度の比較でしか調査をしていないのですけれども、できれば質問紙調査というのは、その部分を経年で追いかけたものも作っていないと、あるときにその学年の指導に何かあったのかということが大変気にせざるを得なくなってくるので、この辺を学校にフィードバックしていかないと、その学年だけが何か突出して違う学年になってしまっているのではないかという危惧感を持っていますので、ここはぜひ単年度ではなく、こういった意識が子どもたちについて、どう経年で変わっているかというところをきちんと分析するような形で現場にフィードバックしていただかないと、生徒指導に関わってくる内容になるのではないかなと心配しますので、そこはお願いしたいと思います。

## 報告事項（２）『行事等の結果について』

### ア 市立学校全国・関東大会結果報告について

（保健体育課長）

それでは、保健体育課から、市立学校全国・関東大会出場選手の結果報告をいたします。

初めに、全国・関東中学校体育大会出場者についてご報告いたします。

１ページ中段をご覧ください。

（２）関東中学校体育大会の結果を記載しております。

①陸上競技におきまして、男子共通1500メートルで、武山中学校３年生の杉村大豪さんが１位、男子共通四種競技で、鴨居中学校３年生の佐々木結翔さんが６位、同じく鴨居中学校３年生の亀倉虎太郎さんが８位に入るなど、入賞を果たしております。

このほかにも資料に記載のとおり、惜しくも入賞は逃したものの多くの市立中学校の生徒さんが、全国・関東中学校体育大会に出場いたしましたので、お読みおきください。２ページ中段をご覧ください。

２になります。市立横須賀総合高等学校運動部の全国大会出場結果についてご報告いたします。

全日制より（１）①アーチェリー、定時制より（２）①陸上競技部、②バスケットボール部、それぞれの生徒が全国大会に出場し、入賞は逃したものの検討いたしました。

３ページをご覧ください。

続いて、市立横須賀総合高等学校文化部の全国大会出場結果についてご報告いたします。

（２）全日制、ワープロ&検定部から２名の生徒が全国大会に出場し、１年生の本田真士さんが全国パソコン技能競技大会において佳良賞を受賞いたしました。

（新倉教育長）

私から１点だけ、すみません。陸上競技の1500メートルの杉村さん、関東大会で優勝して、全国のほうで予選落ちしたとありますが、けがとか何かがあったとかと聞いているんですか。

(保健体育課長)

特にけが等は聞いておりませんが、当日の体調等があつて、惜しくも予選突破ならなかったという報告を受けております。

(理事者報告なし)

(委員質問なし)

日程第2 議案第28号及び日程第3 議案第29号については、人事案件のため、秘密会とすることを宣言。関係理事者以外の退席を求めた。

6 閉会及び散会の時刻

令和5年9月21日(木) 午前10時07分

横須賀市教育委員会

教育長 新 倉 聡